

「進路に関する自分の思い、話してみよう。」

中学3年生の大きな行事である修学旅行や中学最後の体育大会が終わり、あっという間に7月になりました。3年生たちのようすをみると、「高校どうする?」「実力テストの点数が…(-_-;)」など、進路に関することに向き合う人がかなり増えたと感じています。先日行った高校の先生による出前授業にも真剣に取り組んでいました。

今年はどういう中学卒業の年。そして、自分の将来や未来につながる進路について考え、向き合う大切な1年です。来年の今頃には、それぞれ自分で選んだ道を進んでいるはず。そのときに胸を張って、「この進路を選んで良かった・・・!」と後悔なく思えるように、一緒に頑張っていきましょう。さて、今回は進路の選択にあたって、みなさんに考えてほしいこと、実践してほしいことを4つあげておきます。

- ① 自分には、どんな適性・特性があるのだろう。
- ② 将来、自分はどんな仕事をしたいのか、どんな生き方をしたいのか。
- ③ 自分の将来（進路希望）に近づく方法を、自分から積極的に調べてみよう。
- ④ オープンスクールを活用して、いろいろな高校を見に行こう。

令和9年度入試について、高校の説明会等が始まっています。秋までは、いろいろな高校を知り、自分の進みたい進路について考えたり、学力をつけたりする大切な時間です。2学期には2回の懇談を経て、12月には受験高校を決定します。まだ時間があるから・・・と何もしないでいると、後で後悔するかもしれません。あなた自身の進路です。他人任せにせず、真剣に考えていきましょう。進路に関する自分の思い、話してみよう。

令和9年度公立・私立高等学校の入試日程が決定しました。

		出願	学力検査	実技 or 面接	合格発表
私立高校		1月下旬	2月10日(水)	2月11日(木) ※高校によって実施しない場合もあります。	2月12日(金) ※高校によって若干ちがいがああります。
公立高校	特別選抜	2月15日(月) 16日(火)	2月18日(木)	2月19日(金)	3月1日(月)
	一般選抜	3月3日(水)～ 5日(金)	3月10日(水)		3月18日(木)



昨年度に続き、進路指導主事を担当します笠井です。中学生生活の最終学年となった3年生は、進路選択という大事な時期をむかえて、とても不安定になります。しかし、自分でしっかりと自らの将来のことを考え、この時期を乗り越えることは、子どもたちの大きな成長につながるはずです。進路の情報は、見逃さず必ずご確認いただきますようお願いするとともに、その内容をきっかけに、お子様と進路についてじっくり話す時間を作ってください。1年間よろしくお願ひいたします。

進路情報 英語資格(外部検定)活用について

「英検」「IELTS」「TOEFL iBT」で、一定スコアや合格級を取得している場合、公立高校の学力検査「英語」で点数が保障されます。以下は、令和8年度入試(昨年度入試)の要項からの抜粋になります。

学力検査「英語」において、外部機関が認証した英語力判定テスト (TOEFL iBT、IELTS及び実用英語技能検定 (英検) を対象とする。) のスコア等 (以下「スコア等」という。) を活用する。活用にあたり、府教育委員会はスコア等に応じた読み替え率を定め、この読み替え率により換算した点数と英語の学力検査の点数を比較し、高い方の点数を当該受験者の英語の学力検査の成績とする。

英語資格 (外部検定) を活用する志願者は、スコア等を証明する証明書の写しを、出願時に志願先高等学校長に提出する。なお、英語資格 (外部検定) の活用については、「基礎的問題」「標準的問題」「発展的問題」のすべての検査問題を対象とする。

<読み替え率>

TOEFL iBT	IELTS	実用英語技能検定	読み替え率
60点～120点	6.0～9.0	準1級・1級	100%
50点～59点	5.5	(対応無し)	90%
40点～49点	5.0	2級	80%

- ◆ 私立高校の一部では、英検の一定合格級を「加点」する高校や「読み替える」高校があります。
- ◆ 昨年度の令和8年度入試では「11月まで(12月まで)に取得した証明書」や「出願時の提出に間に合うように取得した証明書」など、私立高校によって違いがありました。
- ◆ 英語資格の活用を考えている人は、各高校の募集要項を確認し取得日に注意してください。

「進路について考えよう」で進路のお話をしました。質問にお答えします

- 自分に合った高校や受験の方法がわからない⇒▲あなたが高校で何を学びたい? 普通科? 総合学科? 将来どんな仕事に就きたい? 高校卒業後は就職? 大学進学? 受験の方法は、私立高校と公立高校を受験したいなら、私立併願、私立高校だけを受験するなら、私立専願、公立高校のみの受験もあります。
- オープンスクール以外で高校のことを知る方法がありますか⇒▲高校のホームページで正確な情報を知ることができます。先輩や知人の口コミも参考になりますが、「その先輩の」意見であることに注意。「あなた」はどう思うか、その先輩と同じとは限りません。
- 高校の偏差値や行く高校で、行ける大学に制限はありますか⇒▲どんな大学でも受験することは可能です。合格するかは自分の点数次第です。
- 自分のしたいことや将来のことについて考えてはいるけど、それがまずわからない。⇒▲あなたと同じ思いの中学生、たくさんいると思います。自分のしたいことを探しにいくような気持ちでも大丈夫! 興味のあることや、好きなこと、あこがれていることや人、逆にこれは嫌だなと感じることは何だろう。あと、「自分のしたいこと」は途中で変わってもいいんです。
- 僕の成績で行ける高校がわからない⇒▲外部模試を利用するのもいいかもしれません。まずは自分が何を学びたいか考えてください。実際に高校を見に行くのも大きな刺激になります。「どの高校に行きたいかわからない」場合、まずは近くにある高校のオープンスクールや、自分が入りたいクラブ活動がある高校を見に行くと、進路を選ぶヒントが見つかるかもしれません。まずは行動!
- 何時間勉強が必要ですか⇒▲めやすとしては、平日2～3時間、休日なら5～6時間と一般的にはいわれています。ただし、大切なのは、時間より内容です。「2時間、スマホで動画をみながら勉強した」のでは学習効果は

弱いですが、30分でも集中して取り組む方がいいです。

●私立高校に行く場合、どれだけの費用がかかりますか⇒▲高校ごとに異なりますが、3年間平均でおおよそ170万円です。

●普通の高等学校では、偏差値はどれくらいですか⇒▲「普通の高校」を「実力テストで平均250点をとるくらいの人が受験している学校」と解釈した場合、その学校の偏差値はおおよそ50と考えます。ただし、中学校では偏差値は出していないため、自分の偏差値を知りたい場合は外部の模試を利用してください。

●大学に行きやすい近い高校はありますか⇒▲ほぼすべての高校の卒業生が大学へ進学しています。各高校のホームページやパンフレットで、「卒業生の進路先」を確認してみよう。

●大阪にいる人は、奈良の高校や神戸の高校に行けるか疑問です。⇒▲受験できますが、実際通えるかもしっかりと考えて受験してください。必ず受験の注意を確認しておいてください。※特に公立高校。

●普通科と理数科などの偏差値は変わるのか⇒▲同じ普通科でも必要な学力には高校ごとにちがいががあります。

●偏差値が高い高校でも受けられるか⇒▲受験可能です。ただし、チャレンジ受験の場合は不合格だった場合を考えて受験する必要があります。

●何基準で希望を出したらいいか⇒▲自分の希望のなかで優先順位が高いものが基準になるのではないのでしょうか。例えば、大学に進学したい、サッカー部がある、家から自転車で通える・・・など。

●公立の体育科は3校しかないんですか⇒▲桜宮、汎愛、摂津、大塚の4校です。進路の手引き参照。

●専門学校に行くには、成績や学力は関係あるのか⇒▲あります。

●高校に行っても高い成績を取っていないといい大学に進学できないか⇒▲「いい大学」がどのような大学を目指すのかはっきりとしないですが、各大学に必要な成績や学力が必要になると思います。

●桜宮高校の受かりやすさや倍率を教えてください⇒▲桜宮高校には、人間スポーツ科学科と普通科が設置してあります。令和8年度入試(昨年度の入試)では、人間スポーツ科学科…1.29倍(120人の募集に対し、155人の志願者)、普通科…1.10倍(120人募集に対し、132人の志願者)でした。

●僕に行けそうな高校を知りたいです⇒▲まずは「あなたが行きたい高校」はどこ?例えば、入りたいクラブがある高校、普通科の高校、家から自転車で通える高校・・・など。それを保護者の方や先生に話してみよう。

●僕の成績で行ける高校の探し方はどうやって見つけますか⇒▲高校には私立高校と公立高校があります。公立高校なら「エラボ」で検索すると条件から探すことができ便利です。私立高校は「私学連合会」で検索すると、冊子「ドリーム」のWeb版をみることができます。「僕の成績で行ける高校」から探すのではなく、まず、「あなたが高校で何をしたいか、高校を卒業したらどうしたいか」を考えてください。

●私はこの調子で高校いけますか⇒進学できるかどうか、不安があるんですね。何が心配なのか、保護者の方や先生に話してみてください。一緒に考えてくれるはずですよ。

●高校進学でよく聞く倍率とはどういう意味ですか⇒▲募集人員に対して、希望者が何倍かを表したものです。例えば、募集人員100人のところに、150人希望者がいた場合、倍率は1.5倍になります。 $\frac{150}{100}$ で求めます。

●「倍率」の意味があまりわからなです⇒▲上に同じ。

●専願と併願、どちらの方が受かりやすいか⇒▲専願です。ただし、合格した場合は必ず入学しないとけません。また、専願で受験しても合格が約束されるものでもありません。

●運動をメインでがんばるならこの高校がいいですか⇒▲体育系の学科やコースが良いのではないかと思います。公立か私立かも考えておこう。(運動がメインでも、ある程度の学力は必要です。)

●物づくりがメインでやりたいんですが、どの高校がいいですか⇒工業系や美術系の高校が希望に近そうです。

●通信制の高校と声優専門学校を3年間同時に通おうと思っているのですが、最終の決め方はどうすればいいですか⇒▲高校や専門学校を見に行ったり情報を集めて比べてみると、決め手を見つけられるかもしれません。

●私立高校と公立高校で、テストの難しさに違いはありますか⇒▲私立とひとくくりになっていますが、私立の入試問題は公立高校とは異なり、学校ごとにちがうテストなので難易度の幅が広いです。だから、公立の入試問題の難しさの比較は難しいですが、公立高校よりもマニアックな問題を出題する私立高校もあつたりします。あなたの受験したい過去問題を必ず確認しておこう。

●県外で行きたい高校があつても併願で県外の高校を受けて、すべりどめで市内の高校を受験できますか⇒▲できます。入試の日程に注意しよう。●普通科では4教科の授業を受けますか⇒▲はい。

●高校を卒業した後の大学へ進学する人と就職する人の割合はどちらが多いですか⇒▲高校によって違います。例えば、鶴見商業高校なら、就職6~7割、進学3~4割程度です。旭高校なら9割以上が進学しています。

●夢はあるけど複数あつてどれにするか決められません。こういう場合はどうすればいいですか。⇒▲たくさんすることに興味関心があるんですね。中学生のうちに1つにしぼらなくても大丈夫です。夢は考えて決める場合もあるけれど、行動しながら見つけていくものでもある。試してみて自然に残ったものが夢になることもあります。

●私立専願と私立併願では、どちらのほうが後悔のない選択ができるか⇒▲とても迷いますね。どちらがあなたの希望を叶えやすいですか?考えて考えて、考え抜いた答えなら後悔は少ないかもしれません。最後は…「自分が選んだ道を正解にする努力をする」(宇宙飛行士・医師 米田あゆさんのことば)です。

●定時制の学校へ行き、卒業したら専門学校へ行こうと思っているのですが、定時制の学校でも、専門学校へ行けるのでしょうか⇒▲受験資格があるので受験できます。

●オープンスクールは、自分の頭の良さよりちょっといいところに行ってもいいか知りたいです。⇒▲どんな学校でも見学に行けます。

●就職しやすいところを教えてください⇒▲どのような分野に就職したいかが関係しますが…工業系や商業系の高校はかなり就職に強いです。(今は特に高卒生の募集が多いそうです)

●高校(オープンスクール)へ行くとき、持っていくべきものはありますか⇒▲「礼儀正しさ」と、「淀川中学校の一員であることの自覚」は忘れずに。あとは、オープンスクールの案内を確認してください。

●専門学校や通信制の高校についてよくわからないので知りたいです⇒▲専門学校のうち、中卒生が入学できる「高等課程」を置いている専門学校を専修学校といいます。生活に必要な知識や技能を習得できます。わかりやすいものだと美容師さんの資格など。通信制高校は、決まった日数だけ学校へ通います。あとは家で学習します。

●いつごろまでに、進路を決めるか⇒▲12月には私立高校、公立高校の特別選抜の受験校を決めます。

●東高校は大学に行けるでしょうか⇒▲はい。●工業高校は卒業した後、すぐに就職できますか⇒▲はい。

●咲くやこの花に行きたいけど、何を勉強したらいいかわからない。調理科はどれくらいの成績が必要か、どの勉強をしたらいいかわからない⇒▲受験科目は5科目必要です。評定も可否の判断材料なので、4教科(音楽、保健体育、技術家庭科、美術)も必要です。ですので、すべての教科を勉強する必要があります。

●定時制は自分が好きな時間を指定できるんですか⇒例えば、定時制の学校のひとつ、「昼夜間単位制」の「大阪府立中央高等学校」なら、自分で学校へ行く時間を選ぶことができます。1・2時間日は10時50分開始、3・4時間日は、13時10分開始となっています。(通学は私服OK、頭髪や服装に関する校則はありません。)

ここに載っていない質問がある場合、直接聞きに来てください(^_^)